

令和2年6月12日

保護者様

大阪市立文の里中学校
校長 土肥 純平

学校再開とフェイスシールドの活用について

平素から本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、3か月以上に及び、臨時休業と臨時登校日、学校再開後も分散登校と、日々子どもたちの登校時間が一定せず、保護者の皆様には、ご負担をお掛けしてしまいました。保護者の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

いよいよ15日(月)から完全再開を迎えます。どうか引き続き、朝の検温、健康観察表への記入(ご家族の欄の記入もお願いします)と持参、マスクの着用、ハンカチ・水筒(多めのお茶・水)の用意などをよろしくお願いします。

フェイスシールドの配布について

この度、学校再開後の教育活動の中で、可能な限り感染拡大のリスクを低減させながら教育活動を行っていくための方策の一つとして、飛沫感染防止の観点からフェイスシールドが教育委員会から生徒・教職員に配布されました。(生徒へは、6月15日配布予定)

教室内での休み時間や対面での学習や実習時、声を発する授業などで生徒間の距離が保てないなど感染リスクが高いと考えられる場合に装着します。また、担任等が必要に応じて装着を指導いたします。

保管につきましては、個人名を記名のうえ、学校で行うこと(スーパー袋又は、紙袋に入れて机の横に掛ける)を基本とし、必要に応じて、水・せっけん等で洗うよう指導してまいります。

フェイスシールド装着時は、視野が狭くなること等、危険が想定されることから、登下校を含めた屋外での使用を原則禁止とし、着用しながらの移動や活動(特に階段での移動)については、十分な指導を行ってまいります。

また、空調の使用時期・使用温度については柔軟に対応してまいります。特に、3密のうちの「密接」が想定される場面でフェイスシールドを装着することが想定されることから、教室等の換気には十分に配慮してまいります。

・なお、体調にも十分留意し、着用の継続が難しい時には、着用を控えさせる指導を行います。

・フェイスシールドは、材質的に燃えやすいので、火や熱を発する物の近くでは使わないよう注意いたします。また破損したままで使い続けると、事故につながる可能性があることから、取扱いに注意するよう指導してまいります。

・フェイスシールドの活用にあたっては、着用中に急に振り向いたり、生徒が振り回すことなどによりけがが発生しないよう安全管理に十分配慮してまいります。

以上のことを留意し、「学校の新しい生活様式」のもと可能な限り感染拡大のリスクを低減させるよう努めてまいります。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。